

の中に嚴しく敵手の面皮を剥ぐものなれば、ゲリックたる者願ふに之を讀みて冷汗全身を潤はせしならん。

西曆一千七百七十四年ゴールドスミス病に罹り、發熱甚しかりしかば、醫師何にくれどなく治療に力を盡しけれども、命數の盡くる所亦如何とも爲し難く、九日の間褥中に苦惱したるの末、遂に四月四日を以て歸らぬ旅路に就きぬ。

傳記の記者、氏を評して曰く。ゴールドスミスは當世の最も天才に富みたる人なり。其の智量はジョンソンに及ばず、其の情熱はバークに及ばざれども、一たび筆硯に向ふときは、其の詩の絶妙なる、小説の極美なる、戯曲の最も面白き(喜劇 School for Scandalを除きては)、何人も及ぶものなかりき。其の、風采は輕率に、虚榮に、放逸に、其の態度は鄙野なるを以て、時人の爲めに嘲笑せらしかども、一たび密室に閉ぢ籠りて筆を執るときは、何人に對しても好敵手たりしのみか、最も美妙なる、

且つ最も深切なる復讐の詩文を草して遙かに彼れ等を凌駕せり。氏の文詞——氏の全力はこの文詞に存せり——はど自然に、簡易に、且つ雅趣なるものはあらじ。氏の文詞は最も美妙なること、最も技巧なるさまどに満てり云々と。

噫々多く得難き名著述家にこそ。

支那哲學者 歐洲巡遊通信附錄 畢

(1)

寸珍百種

每月二又三發
每月讀切新珍形美裝本
正價一冊拾錢○六册前
八册前金一圓八錢○百册前金
免回八册前金一圓八錢○百册前金

第一編 學問之方 針全 宮川鐵次郎君著

第二編 勿名一處生之方 針全 中原尙德君著

第三編 錢名一通俗貨幣大意全 高槻純之助君著

第四編 事物原始一千題全 岸上 操君著

第五編 柳北遺稿 上卷 成島柳北君著

第六編 柳北遺稿 下卷 成島柳北君著

第七編 皇朝千家絕句全 佐藤六石君著

第八編 萬國發明家列傳全 澁江 保君著

第九編 應用新論經濟地理全 伊勢本一郎君著

第十編 通俗簡易治療法全 松尾 連君著

第十一編 明治英傑詩箋全 內山正如君著

第十二編 俳諧獨案內全 田中賴二郎君著

第十三編 實用英字書法全 中原尙德君著

第十四編 支那漫遊實記全 安東不二雄君著

第十五編 岡本黃石翁雷笑餘聲全 橫田香苗君著

附 祭星餘光鷄林詩選全

(2)

(3)

第十六編 譚

海 一卷 依田百川君著

第十七編 譚

海 二卷 依田百川君著

編十八編 譚

海 三四卷 依田百川君著

第十九編 骨

談 全 骨皮道人君著

第二十編 水

守 全 角田音吉君著

第廿一編 ウ

エ ル リ ン ト ン 全

矢部五洲君著

第廿二編 俳

諧 史 談 全

山崎庚午太郎君著

第廿三編 俳

諧 名家列傳 全

有耶無耶道人君著

第廿四編 獨逸文壇六大家列傳 全

漣山人君著

第廿五編

通 俗 菓 園 法 全

青柳浩二郎君著

附 蔬 菜 改 良 法

第廿六編

苹 果 栽 培 法 全

恩田鐵彌君著

第廿七編

小 兒 養 育 法 全

中村正道君著

第廿八編

支 那 哲 學 者 歐 州 巡 遊 通 信 上 卷

羽化仙人君著

第廿九編

支 那 哲 學 者 歐 州 巡 遊 通 信 下 卷

羽化仙人君著

第三十編

處 世 交 際 法 全

槐堂居士君著

(4)

以下ノ目次ハ追テ廣告スベシ

明治廿六年五月十四日印刷
明治廿六年五月十日發行

定價金拾錢

編輯者兼
發行者

大橋新太郎

日本橋區本町三丁目八番地

印刷者

橘

磯

吉

京橋區弓町廿三番地

印刷所

三

協

舍

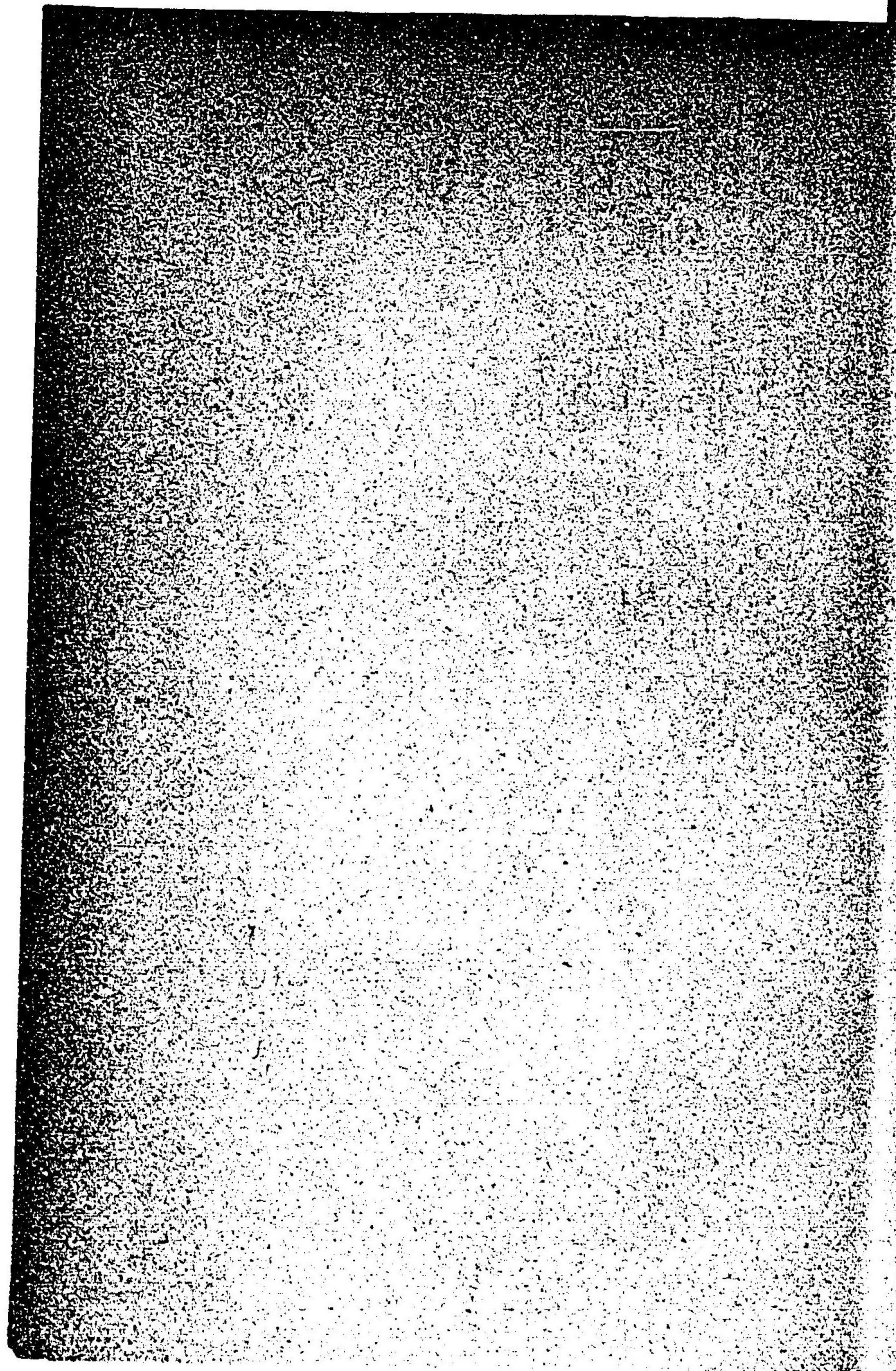
京橋區弓町廿四番地

東京市日本橋區本町三丁目

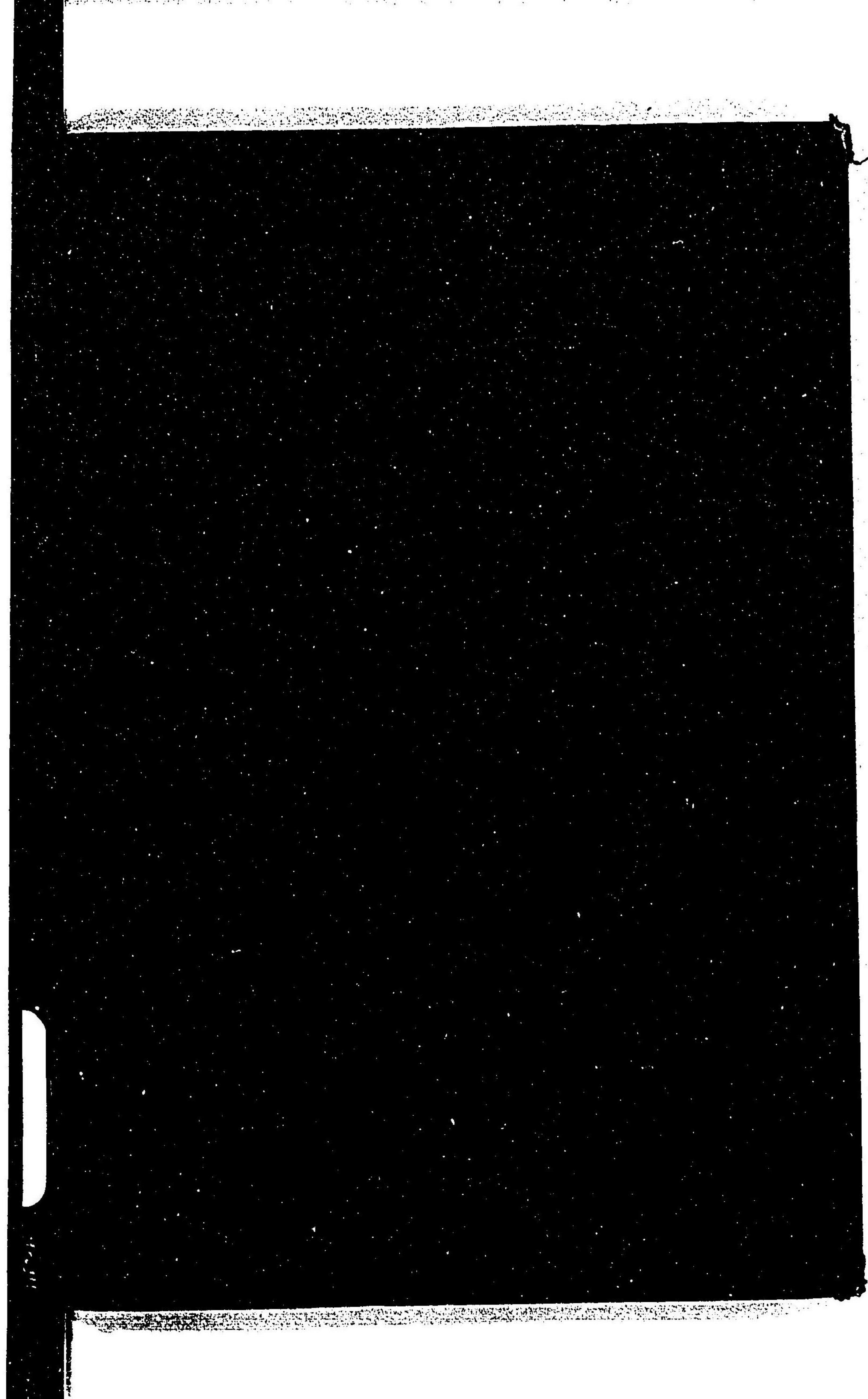
發兌書林 博文館

版權
所有

77
157



71
157



71
157

157